

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	フリガナ ヒガシニッポン鉄道ビル ショウワケイ 横浜支社 バダ ケジ 氏 名 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長 濱田 賢治			
主たる事務所又は 事業所の所在地	郵便番号 220-0023 住 所 神奈川県横浜市西区平沼一丁目 40 番 26 号			
開発事業の名称	北加瀬社宅（仮称）建設			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市幸区北加瀬二丁目 80 番 1 他			
開発事業の目的	社宅の建替え			
工事の着手 予定年月日	平成22年 8月 20日			
工事の完了 予定年月日	平成24年 7月 31日			
開発事業の概要	区域面積	約 14,640 m ²		
	床面積	約 10,623 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	A	集合住宅	約 3,708 m ²	
	B	集合住宅	約 3,744 m ²	
	C	集合住宅	約 3,171 m ²	
			m ²	
			m ²	
	床 面 積 の 合 計		約 10,623 m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	・日本住宅性能表示基準「5・1 省エネルギー対策等級」における等級3に相当程度とした、断熱性能や気密性に優れた部材を極力採用し、環境負荷の低減に努める。 ・各住戸の潜熱回収型高効率ガス給湯器や共用部の LED 照明等のエネルギー効率の高い設備機器の導入に努め、二酸化炭素や窒素酸化物の発生の抑制を図る。
	ヒートアイランド現象の緩和	・各住戸の潜熱回収型高効率ガス給湯器や共用部の LED 照明等のエネルギー効率の高い設備機器の導入に努め、人工排熱の抑制に努める。 ・可能な限り緑化を図るとともに、屋上緑化により人工被覆の改善に努める。
	交通環境への配慮	・居住者に対しては、アイドリングストップ等のエコドライブの推奨や公共交通機関の利用などについて周知し、窒素酸化物等の排出量の低減やエネルギー使用量の削減及び二酸化炭素の発生の抑制を図る。
	緑地の保全と緑化の推進	・可能な限り緑化を図るとともに、住棟において、屋上緑化を実施する。 ・可能な限り現況樹木の保全を図る。
	工事に係る配慮	・エコドライブの実施に努め、エネルギー使用量の削減及び二酸化炭素の発生の抑制を図る。 ・型枠材は、繰り返し使用できる型枠を使用するなど、材料や工法に配慮する。 ・建築物については、長寿命化を図るよう、コンクリートの高品質化やリニューアブルしやすい構造の採用に努める。
	その他	・可能な限り緑化を図り、雨水の地下浸透に配慮する。 ・共用部では長寿命の設備機器の導入に努め、資源の有効活用を図る。
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	☐ 導入する ☒ 導入しない
	導入機器	

(第3面)

特 定 建 築 物 の 評 価 の 目 標	棟番号	評価の目標
	該当なし	
備 考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所／学校／物販店／飲食店／集会所／工場／病院／ホテル／住宅／その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例（平成 11 年 川崎市条例第 50 号）第 127 条の 4 第 1 項の特定建築物に該当する場合、同項第 5 号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。